

# 八王子市のゼロカーボンシティ実現に向けて

令和4年7月24日  
八王子市環境部環境政策課



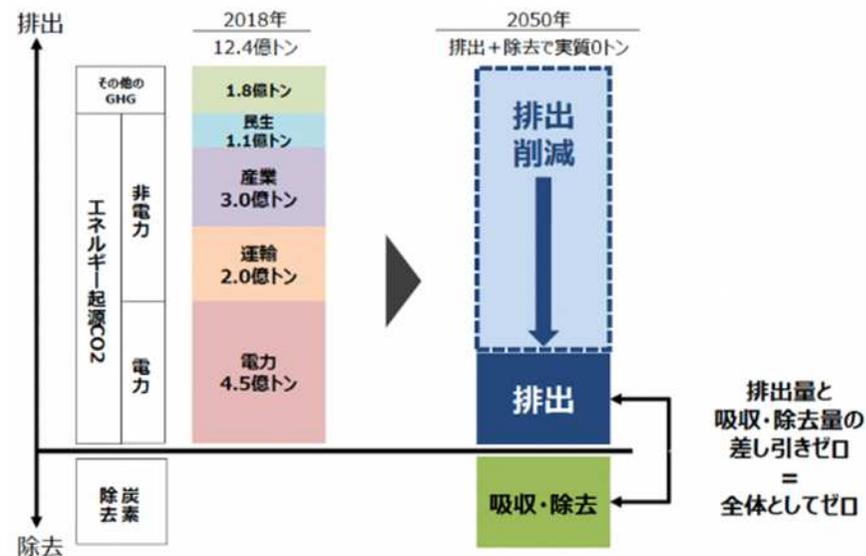
# 八王子市は、2022年2月10日の市長記者会見で「**ゼロカーボンシティ宣言**」を表明しました。

## ゼロカーボンシティとは？

脱炭素社会に向けて、**2050年二酸化炭素実質排出量ゼロ**に取り組むことを表明した地方公共団体

東京都を始め、26市町村で16市1村、23区のうち20区が宣言しています。(R4.6.30現在)

実質排出量ゼロとは…**化石燃料の消費を限界まで減らす(省エネ)**と同時に、再生可能エネルギーのように**二酸化炭素を排出しないエネルギーから作られた電気に切り替え**、消費からでる二酸化炭素を無くす。また、それでも排出されるものを森林などの吸収源による除去量で消費量以上とする必要があります。



出典: 資源エネルギー庁

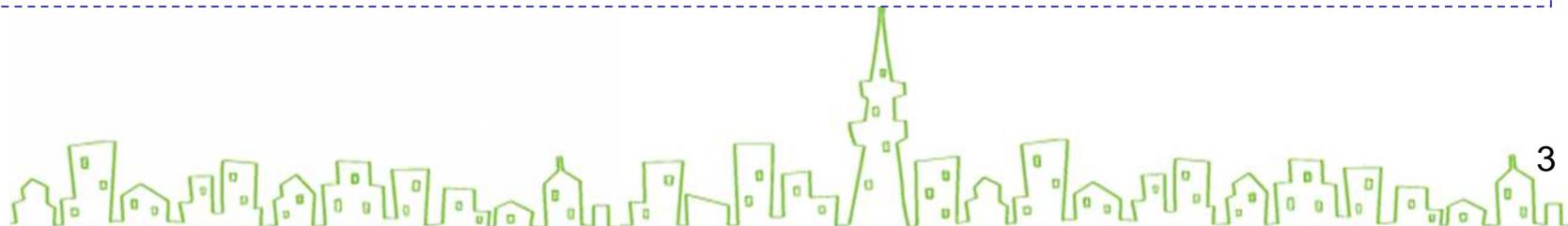


Q. なぜ、ゼロカーボン(二酸化炭素ゼロ)に取り組むのか？

A. 2050年頃までに世界のCO<sub>2</sub>排出を実質ゼロにし、地球温暖化を1.5℃までに抑えなければ、極端な高温、海洋熱波、干ばつ、大雨、強い台風、農業、生態系、並びに北極域の海氷、積雪及び永久凍土の縮小などの影響をさらに強めると予測されています。

すでに、1.0℃地球温暖化しているため、10年に一度の極端な高温リスクが2.8倍、大雨のリスクが1.3倍となっています。

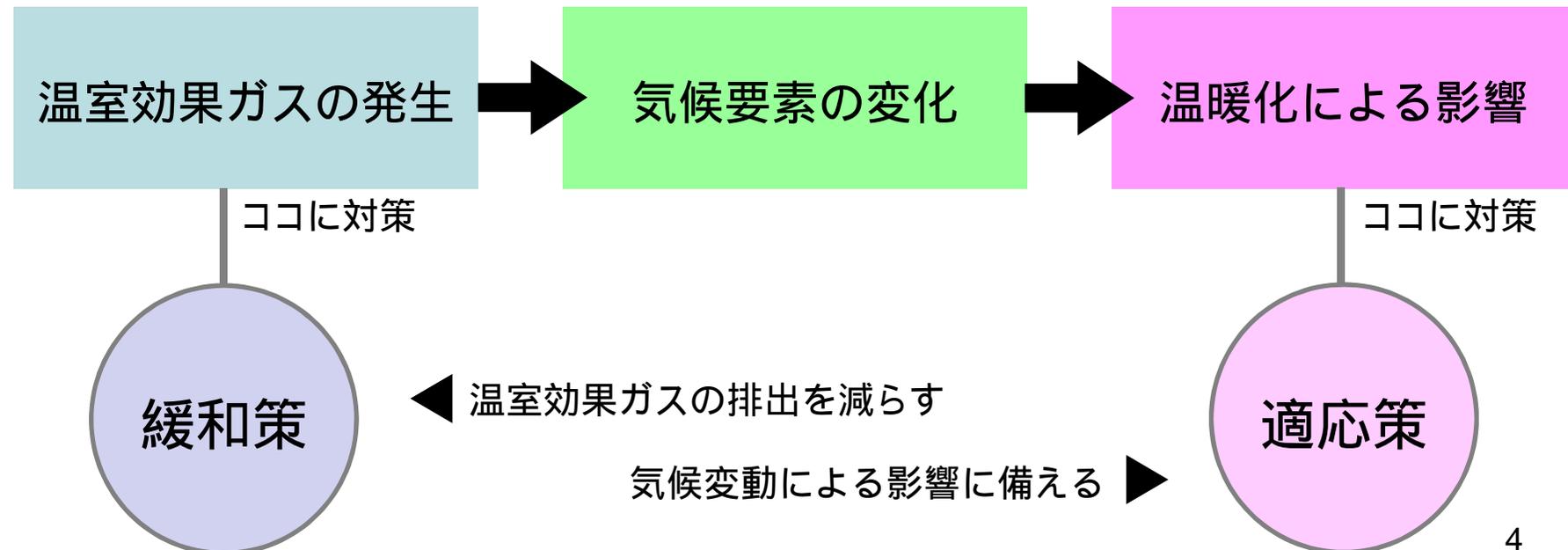
IPCC第6次報告書によると、「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。」と明記されています。



## 地球温暖化の影響を防ぐための方法

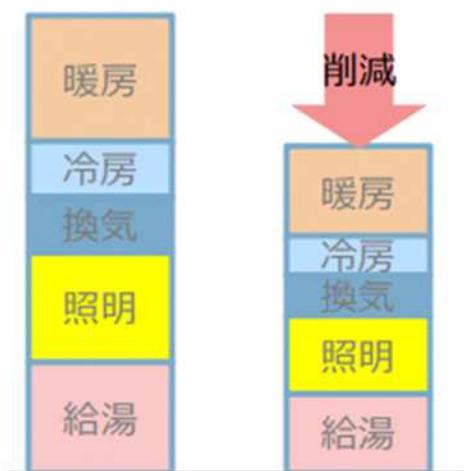
私たちが生活や事業活動をすることで、エネルギーを消費し、温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>を排出しています。それらのCO<sub>2</sub>の排出を防ぐための対策を「緩和策」といいます。一方、これから起こりうる地球温暖化の影響に事前に備える対策を「適応策」といいます。

地球温暖化対策は、「緩和策」「適応策」の2つの対策を両方すすめていくことが重要です。



# 地球温暖化の影響を防ぐために取り組むべきこと

## エネルギーを上手に使う



- 徹底した省エネによる削減

省エネ設備の導入(高効率エアコン、LED照明、高効率給湯)、自然エネルギーの活用(昼光の有効利用、自然風の利用、日射遮断)、断熱・気密性能の向上

- エネルギーの脱炭素化

再生可能エネルギーの導入等により、使用エネルギーの脱炭素化を図る。

- ・太陽光発電システム、太陽熱利用システムの設置
- ・再エネ電力契約の利用

エネルギーを極力  
必要としない  
(夏は涼しく、冬は暖かい住宅)



エネルギーを創る

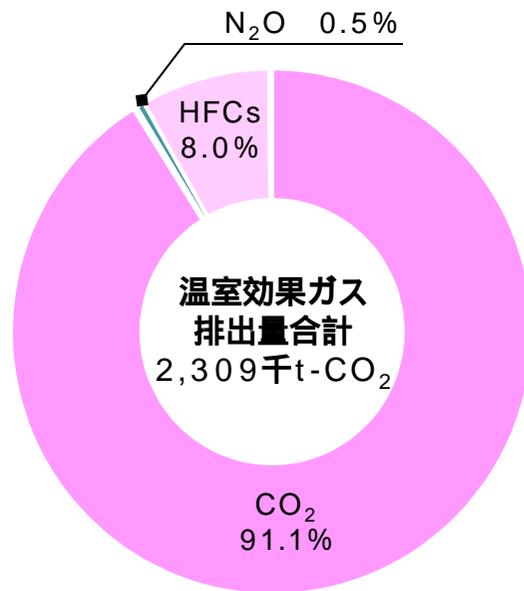


走行中のCO<sub>2</sub>排出ゼロ

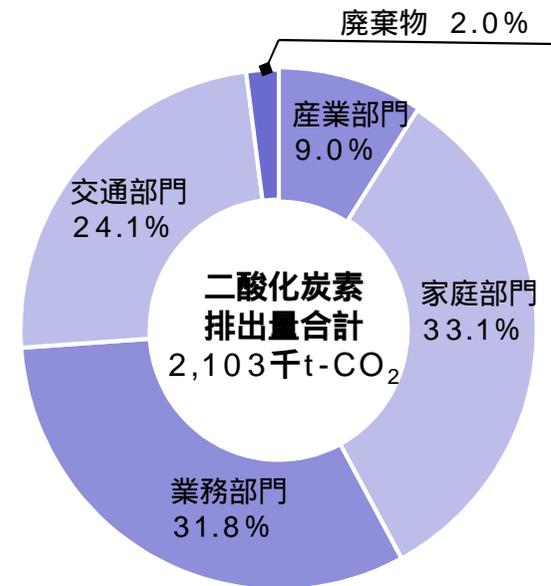


# 八王子市の現況

温室効果ガス排出量の内訳(2018年度)

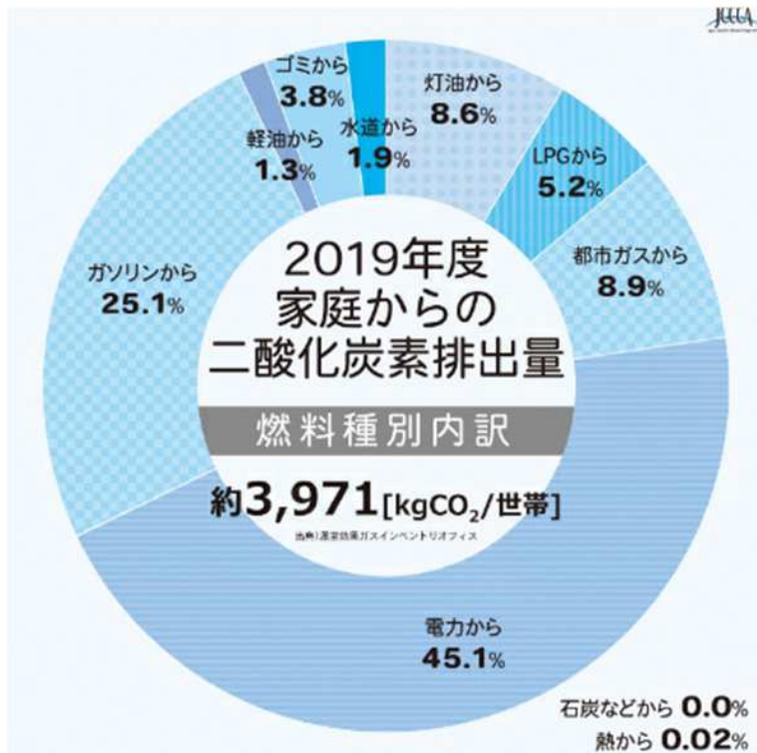


二酸化炭素排出量の内訳(2018年度)

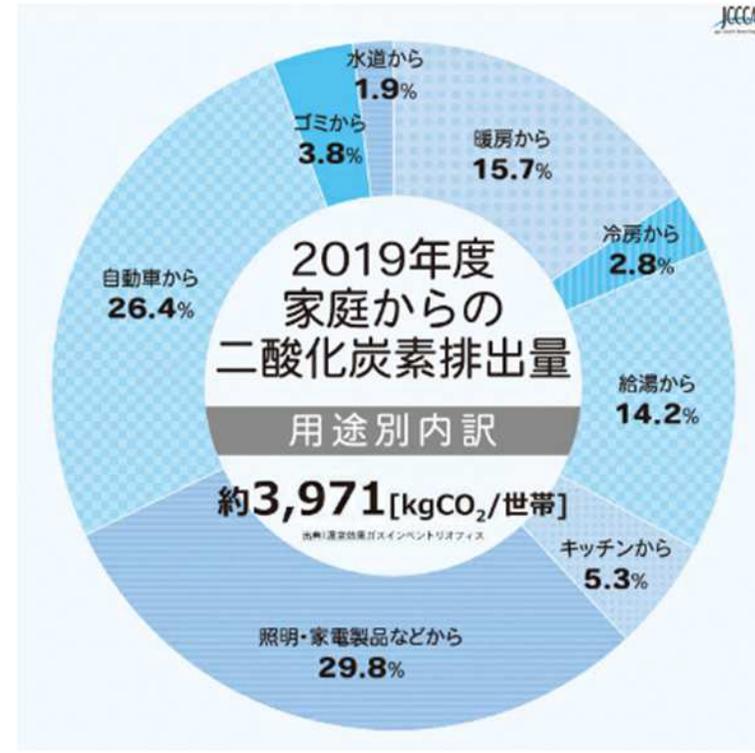


本市の温室効果ガス排出のうち、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が約9割  
二酸化炭素排出量のうち、家庭部門、業務部門、運輸部門で約9割

# 各家庭の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出源



@温室効果ガスインベントリオフィス



@温室効果ガスインベントリオフィス

二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出要因はさまざま。熱需要、電気、自動車が主な要因

様々な分野で多くの対策を実施しなければならない。

# 温暖化対策の取組(現在の取組事例)

## 省エネの醸成

- > COOLCHOICE  
(COOLBIZ・WARMBIZ、エコバッグ運動、宅配便再配達防止)
- > はちエコポイント、省エネチャレンジ
- > イベントの実施
- > みんないっしょに自然の電気

## 省エネ設備の導入

- > 省エネ家電の買換え(東京ゼロエミポイント)
- > 省エネエアコン設置費補助金(終了しました)
- > 再生可能エネルギー利用機器設置費補助金
- > 太陽光発電初期費用ゼロ促進事業
- > 暑さ対策推進事業

## 省エネ住宅化

- > ZEH(ネットゼロエミッションハウス)
- > 東京ゼロエミ住宅
- > 断熱リフォーム支援事業
- > 居住環境整備補助金



ご清聴ありがとうございました

